



クロスパン・フォト・レター

平成 29 年 3 月 10 日
第 10 号
長野県伊那北高等学校

「クロスパン・フォト・レター」は、伊那北高校の日常の様子を写真でお伝えすることで、本校の教育活動の一端を紹介し、進学を考える上での参考にしていただければと、平成 21 年度から月 1 回程度のペースで発行しています。

門出の時、希望を胸に



伊那北高等学校第 69 回卒業式が 3 月 3 日(金)に行われ、男子 124 名、女子 118 名、計 242 名の卒業生が、薫ヶ丘の学舎から巣立っていきました。すでに進路が決まっている生徒、受験真只中の生徒、再起を期す生徒など様々ですが、皆晴れやかに卒業の日を迎えました。在校生も、別れの寂しさを感じながらも、頼もしかった先輩達の門出を心より祝う一日でした。



平成 28 年度課題研究のテーマ
虹に関する研究
コアンダ効果の発生と影響
過冷却現象についての研究
非水溶媒中におけるルミノールの発光挙動
バイオログを用いた土壌細菌とミミズの腸内細菌の比較
ケナフの設置による教室内環境への影響
友愛数の性質
ロジスティック写像による疑似乱数生成と評価

1月28日(土)、理数科2年生による「第23回課題研究発表会」が開催されました。理数科2年・1年生の他、保護者・中学生・学校評議員・研究に協力していただいた大学や研究所の先生方など総勢200名を越える聴衆の中、物理・化学・生物・数学分野の研究を行った8つの班が1年間の研究成果を発表し、活発な質疑応答が行われました。



2月3日(金)、伊那市生涯学習センターホールで吹奏楽部によるIBB WINTER CONCERTが行われました。今年初めての試みであり、最大で8名からなるアンサンブル10グループがそれぞれ曲を披露しました。



2月25日(木)、信州予備学校校舎長の田中祐介先生を講師に招き、2学年進路ガイダンスが行われました。講演に続き、3学年学習の手引き『高きを學べ』の説明が行われました。



2月9日(木)、1年理数科生が、今年初めて企画した工学・薬学分野の研修として、名古屋大学プラズマ医療科学国際イノベーションセンターとファイザー・ファーマ(株)を訪問して学問的な視野を広げました。

伊那北高校のHP(ホームページ)
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>
 学校に対するご意見・ご要望は上記のHP内メール、またはTEL0265-72-2221(代表) 教頭 平澤までお願いします。